一仕事終了後慰労金拾銭別ニ支給スル事ヲ申出デタルニ付テハ其ノ取扱ヒニ付テ

一青木ハ本職ノ外ニ仕事ヲ為ス事ヲ禁ズルコト

一右金ト雖モ金千円以上ノ分ハ仕切リ青木ヨリ受ケルコト

別紙（イ）（続表）

住所	氏名	等級	俸給
神田区三崎町三ノ七四番地	相生 清	印刷部長	金三十五円也
神田区三崎町三ノ一〇三	山本平吉	〃	三十三〃
神田区三崎町三ノ一〇三	松井政二郎	〃	三十一〃
牛込区市ケ谷八幡町十八	大畠芳光	〃	三十八〃
〃	志水保一	〃	三十五〃
〃	〃 寛	〃	三十〃
神田区三崎町三ノ一三	荒井泰林	〃	三十六〃
下谷区上野桜木町一〇	金子秀次	〃	三十三〃
小川町南甲州屋横丁二ノ一	高田直城	〃	三十三〃
神田区三崎町三ノ一四	御井栄吉	〃	三十〃
下谷区上野桜木町一〇	千葉作太郎	〃	三十八〃
神田区三崎町三ノ一四	井上秀雄	〃	三十五〃
神田区三崎町三ノ一〇三	高野一吉	〃	三十八〃
〃	小山男	〃	三十〃

別記（ロ）

町民諸君に訴ふ

私達は神田三崎町三ノ七四番地にある日清製薬株式会社の職工ですが数日来色々と御迷惑をかけて仕事も中断ちしてゐる様な義次第です。神田の皆様に私達の境遇なり、又真意を訴へて忌憚なき批評を乞ひ一日も早く解決を計りたい為めです。

七月二十一日まで私達は平常通り働いてゐましたが突然社長山谷太郎の妾にて重役たる高野一吉が日本生命社の社員は現在除名となつてゐます。（此一吉は数十万円の資本家側重役の金額を滞納してゐる為めに除名となつてゐます）社長山谷太郎は数十万円の資本家なるに拘はらず株主には高率の配当をなし、こつこつと働いてゐる私達には僅かの賃銀しか与へず、社員の処分に対しても社長の意志を体して重役会議にて決定するのが当然であるに拘はらず、社長山谷太郎は其の理由を説明さへ行はず、又重役会議にかけもせず、一切の責任を青木に負はせて青木に辞職を命じ、青木は之れを拒絶すると、社長は青木に対して種々の圧迫を加へ、遂に青木は辞職を余儀なくされ、青木の後任には青木の助手たる小山男を任命しました。

青木は私達の為めに尽力してくれた人であり、又技術者としても実に立派な人であります。

青木自身は以前は職工として会社に入社し、一生懸命に働いて今日の地位を得たのであります。

青木は強制的に職を辞めさせられ、一職工と成つて会社を去つて行くのを見て、私達二千余人と五百余人の家族は、会社側の処置に対して憤慨に堪へません。

私達は常に会社の仕事を大事に思ひ、昼夜を問はず一生懸命に働いて来ました。

私達は常にこの不当なる処置に対して抗議を申込んだが聞き入れられません。

私達は会社の仕事を大事に思ひ、昼夜を問はず一生懸命に働いて来ましたが、今後は一切の責任は青木にあるのだからと云つて仕事をしないで、今後一切の責任は青木にあるのだからと云つて仕事をしないで、今後一切の責任は青木にあるのだからと云つて仕事をしないで、